

月日 (校時)	価値内容	教材名
1月27日 (水) 3校時	自己	「続ける」ということは?
本時のねらい 本時 (1/2) ○友だちの考えを受け止め、自分の考える「続ける」ということについて思考を深める。 ○思考することを楽しみ、対話を通して「続ける」ということについて考えていくことができる。		
学習課程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項
【導入】	○前の時間の振り返りをする。	
【展開】 課題把握  ・言語わざ ・見通し  ・シラバス  全体対話① (5分) グループ対話② (10分) 全体対話③ (15分)	1 課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         友だちの考えを受け止め、自分の考える「続けるということ」について思考を深めよう。                     </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>【約束】</b>・どんな意見も否定しない (そんなのおかしい、間違いだ等)                          ・友達の見えとつなぎながら発言できるようにする。                          ・反応をしながら聴き合う (「うんうん」、「なるほど」、「どうしてそう考えるか理由を教えてください」等)                     </div> ◆ゴールは、「続けるということ」について話し合い、自分の考えを原稿用紙に書く。  全体対話 (5分)・グループ対話 (10分) 全体対話 (15分)・振り返り (5分)  2 「続ける」ということについて自分の考えを伝える。 ○自身が考える「続ける」ということについて考え、発表してください。  3 グループで「続ける」ということについて思考を深める。 ○なぜそう考えるのか理由を話し合しましょう。  4 全体で「続ける」ということについて感じたことや思ったことを伝え合う。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>◆必要に応じた支援</b>                          ・言葉の意味を問い返し、具体的な内容とつなぎ明確化する。                          ・考えや意見の根拠やそう考える理由を問う。                          ・友だちの意見との関係性を促す。                     </div>	・サークル対話の形で行う。 ・教師は、同サークルに入りコーディネートする。 ・相手の意見や考えに質問したり、感じたことや考えたことを付け加えて話したりするよう伝える。  ・グループごとにサークルの形にして対話を楽しむ。 ・もう一度全体でサークルの形にし、思考を深める。
【終末】 振り返り (5分)	6 学習したことを振り返る。(原稿用紙 400 字) ・相手の意見で納得したこと、自分の考えが変わったこと、さらに疑問がわいてきたことなどの視点をもたせる。	・一人で考える時間も大切にする。

時	学習活動
1	「続ける」ということについて対話し、自分の考えを深めたり、広げたりする。
2 総合	これから中学生になるために、自分が続けることを決める。

